



## アシスタントの削除

この章では、Cisco Unified Communications Manager データベースおよび LDAP ディレクトリからアシスタントを削除する方法について説明します。削除する既存のレコードを検索するには、クエリ検索またはカスタム ファイルを使用できます。

- [Cisco Unified Communications Manager からのアシスタントの削除 \(1 ページ\)](#)

## Cisco Unified Communications Manager からのアシスタントの削除

CM Assistant アシスタントを Cisco Unified Communications Manager データベースと LDAP ディレクトリから削除すると、Cisco Unified Communications Manager はこのアシスタントの情報をユーザとしてディレクトリで維持します。たとえば、アシスタント `thudson` が 2 名のマネージャ、`hart` と `dstewart` に割り当てられているとします。`thudson` とこの両方のマネージャの関連付けを解除するには、Cisco Unified Communications Manager データベースで、`thudson` をアシスタントとして削除します。ディレクトリには、`thudson` がユーザとして引き続き表示されます。

削除する既存のレコードを検索するには、クエリ検索またはカスタム ファイルを使用できます。

### クエリを使用したアシスタント アソシエーションの削除

Cisco Unified Communications Manager ディレクトリ内でマネージャとのアソシエーションからアシスタントを削除できます。

#### 手順

- ステップ 1** [BAT 管理 (BAT Administration)] > [マネージャ/アシスタント (Managers/Assistants)] > [アシスタントの削除 (Delete Assistants)] > [クエリ (Query)] の順に選択します。
- ステップ 2** 最初の [アシスタントの検索 (Find Assistants where)] ドロップダウンリストボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- ユーザ ID (User ID)
- [名 (First Name) ]
- [ミドルネーム (Middle Name) ]
- [姓 (Last Name) ]
- [部署名 (Department) ]

2 番目の [アシスタントの検索 (Find Assistants where) ] ドロップダウンリストボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- ~で始まる
- ~を含む
- 次の文字列と完全に一致する
- 次の文字列で終わる
- 空である
- ~が空ではない

**ステップ 3** 必要に応じて、適切な検索テキストを指定し、[検索 (Find) ] をクリックします。

**ヒント** データベースに登録されているすべてのアシスタントを検索するには、検索テキストを何も入力せずに [検索 (Find) ] をクリックします。

- a) 複数の部署からアシスタントを選択するには、このフィールドに複数の部署を入力します。たとえば、部署 12 と部署 24 からマネージャを選択するには、操作を 2 回行う代わりに、3 番目のボックスに「12, 24」と入力します。
- b) さらにクエリを定義して複数のフィルタを追加するには、**[絞り込み (Search Within Results) ]** チェックボックスをオンにして、ドロップダウンリストから [AND] または [OR] を選択し、[ステップ 2 \(1 ページ\)](#) と [ステップ 3 \(2 ページ\)](#) を繰り返します。

検出されたアシスタントのリストが次の分類で表示されます。

- ユーザ ID (User ID)
- [名 (First Name) ]
- [ミドルネーム (Middle Name) ]
- [姓 (Last Name) ]
- [部署名 (Department) ]

**ステップ 4** [ジョブ情報 (Job Information) ] 領域に、ジョブの説明を入力します。

**ステップ 5** 削除方法を選択します。次のいずれかを実行します。

- a) すぐにアシスタントを削除する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately) ] をクリックします。

b) 後でアシスタントを削除する場合は、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。

**ステップ 6** 選択したアシスタントを削除するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。

[ジョブの設定 (Job Configuration)] ウィンドウを使用して、このジョブをスケジュールまたはアクティブ化します。

---

#### 関連トピック

[BAT ログ ファイル](#)

[スケジュールしたジョブの管理](#)

## カスタムファイルを使用したアシスタントアソシエーションの削除

テキストエディタを使って作成したカスタムファイルを使用して、Cisco Unified Communications Manager データベースからアシスタントアソシエーションを削除できます。カスタムファイルを使用して、削除するアシスタントアソシエーションを特定します。



**注目** bat.xlt で作成された挿入トランザクションまたはエクスポートトランザクションのファイルを削除トランザクションに使用しないでください。代わりに、削除する必要があるアシスタントアソシエーションレコードの詳細を含むカスタムファイルを作成する必要があります。削除トランザクションにはこのファイルだけを使用してください。

#### 始める前に

1. 削除するアシスタントのユーザ ID を列挙したテキストベースのカスタム CSV データファイルを作成します。各ユーザ ID を必ず別々の行に配置してください。



(注) このカスタム削除 CSV データファイルでは見出しが不要で、アシスタントアソシエーション ID の値を入力できます。

2. カスタムファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードします。

#### 手順

---

**ステップ 1** [BAT 管理 (BAT Administration)] > [マネージャ/アシスタント (Managers/Assistants)] > [アシスタントの削除 (Delete Assistants)] > [カスタムファイル (Custom File)] の順に選択します。

**ステップ 2** [アシスタントの選択 (Select Assistants where)] フィールドは、識別子 [ユーザ ID (User ID)] のままにします。

**ステップ 3** 2 番目のフィールドでは、[カスタムファイル (Custom File) ] ドロップダウンリストボックスから、このトランザクション用に作成したカスタム ファイルの名前を選択します。

**ステップ 4** [検索 (Find) ] をクリックします。

**ステップ 5** [ジョブ情報 (Job Information) ] 領域に、ジョブの説明を入力します。

**ステップ 6** 削除方法を選択します。次のいずれかを実行します。

- a) すぐにアシスタントを削除する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately) ] をクリックします。
- b) 後でアシスタントを削除する場合は、[後で実行 (Run Later) ] をクリックします。

**ステップ 7** 選択したアシスタントを削除するジョブを作成するには、[送信 (Submit) ] をクリックします。

[ジョブの設定 (Job Configuration) ] ウィンドウを使用して、このジョブをスケジュールまたはアクティブ化します。

---

#### 関連トピック

[BAT ログ ファイル](#)

[スケジュールしたジョブの管理](#)

[サーバへのファイルのアップロード](#)

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。